

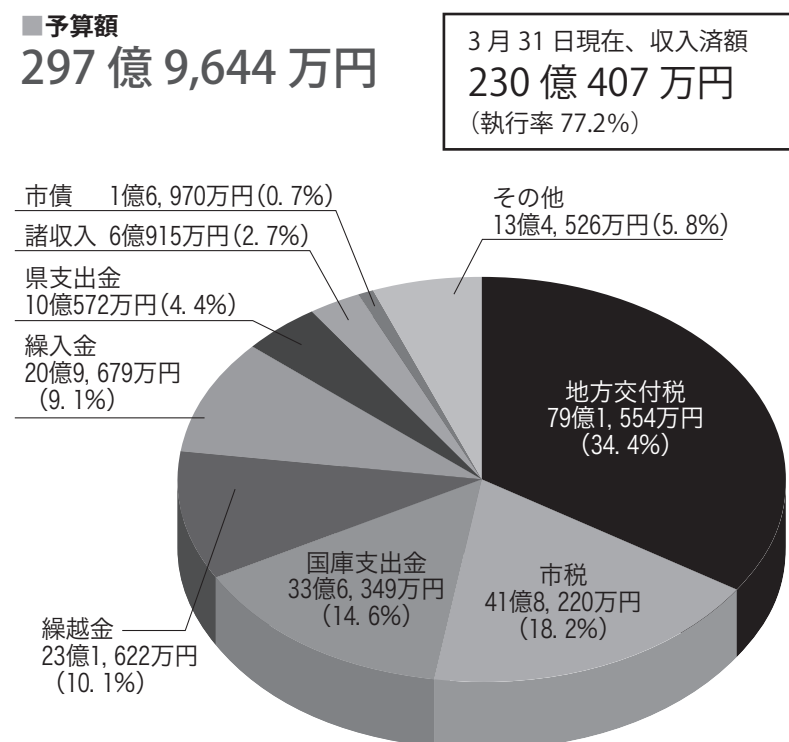
# 財政状況のお知らせ

市では、皆さんから納めていただいた税金や、国から配分されるお金をやり繰りし、平成27年度も東日本大震災からの復旧・復興をはじめとする各種事業を進めました。3月31日現在でまとめた平成27年度の財政状況のあらましをお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

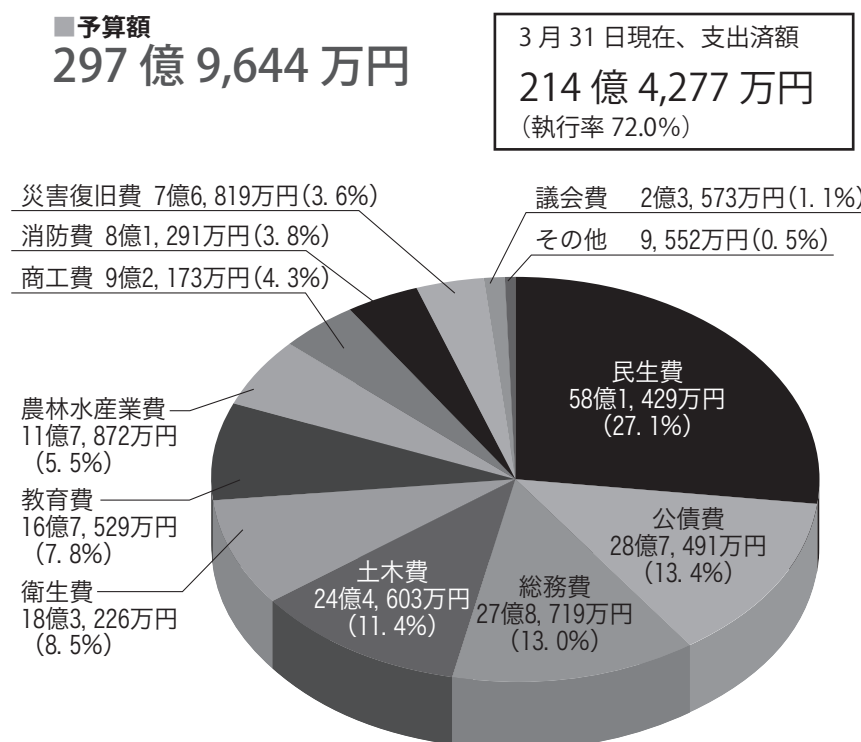
財政課 ☎5212113

## 一般会計歳入



# 歳入

## 一般会計歳出



# 歳出

## 特別会計

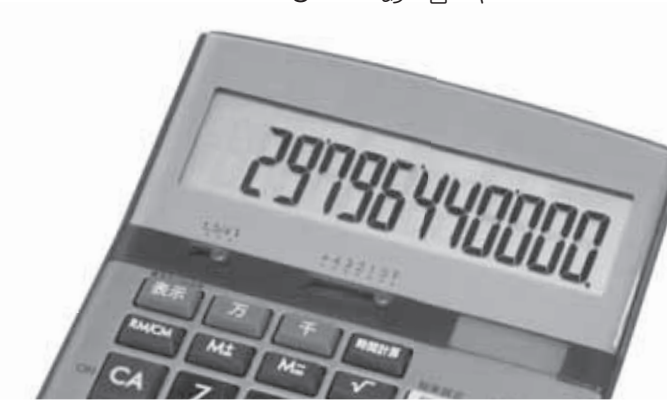
■予算額 78億8,139万円

会計名	収入済額	支出済額
土地取得事業	2,061万円	2,061万円
国保(事業勘定)	42億7,214万円	48億3,756万円
国保(直診勘定)	8,421万円	1億8,065万円
後期高齢者医療	2億9,558万円	2億7,194万円
介護サービス事業	2,864万円	4,471万円
魚市場事業	769万円	1,267万円
漁業集落排水事業	7,475万円	2億5,367万円
公共下水道事業	5億839万円	8億8,053万円
合計(予算の執行率)	52億9,201万円 (67.1%)	65億234万円 (82.4%)

## 公営企業会計

■会計名 水道事業会計

区分	収入額	支出額
収益的収支	7億6,551万円	7億6,094万円
資本的収支	5億9,702万円	8億2,692万円



## 財服用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します。

- 【収入の関係】
- ▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税などがもとになっています
  - ▶国庫(県)支出金…国(県)が、市に対して交付する補助金など
  - ▶市債…市が事業を行うために、金融機関などから借りるお金
- 【支出の関係】
- ▶民生費…福祉や子育てを支援するために使うお金
  - ▶公債費…市の借金返済などに使うお金
  - ▶総務費…市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
  - ▶土木費…道路や公園などの整備や補修に使うお金
  - ▶衛生費…環境の保全や健康を増進するためなどに使うお金
  - ▶教育費…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
  - ▶農林水産業費…農林水産業の振興などに使うお金
  - ▶商工費…商工業や観光を促進するために使うお金
  - ▶消費費…消防や災害対策などのために使うお金
  - ▶災害復旧費…災害によって被害を受けた施設や道路などを復旧するためのお金

はじめに一般会計の最終予算額は、297億9644万円(平成26年度からの繰越分を含む)。東日本大震災で被害を受けた施設や設備の復旧事業が一部完了したことなどにより、平成26年度の332億4194万円と比べ、34億4550万円の減になりました。

### 一般会計は34億減

市の財政は、基本となる「一般会計」と、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」、事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公営企業会計」の3種類の会計で成り立っています。これらの会計は、4月から翌年3月までの期間で一区切り。5月中に収入と支出を整理し、最終的な決算額をまとめます。

3月31日現在でまとめた平成27年度の財政状況はグラフと表のとおりです。予算に対する進み具合を表したものが執行率になります。

### 市の会計は3種類

最終予算額に対する執行率は、歳入が77.2%、歳出が72.0%です。

次に特別会計です。市には国民健康保険や公共下水道などの特別会計があり、合計の予算額は78億8139万円で、平成26年度の73億5760万円に比べて5億2379万円の増。執行率は収入が67.1%、支出が82.4%となっています。

### 復興・発展に活用

市では大切なお金を有効に活用し、大震災からの復旧・復興をはじめとする重要課題の解決と、まちの発展・飛躍に向けて、本年度も全力で各種事業を進めていきます。皆さんのご理解とご協力を願います。